

プログラムの主用途 : FreeMindで作成したPerlプログラムをPerlフォーマットのプログラムに変換する

- 効果 :
- 1 プログラムの構造が見やすくなる
 - 2 プログラムブロックに名前を付けることができる

使用法 : Perl : mm2pl <[FreeMindで作成した.mmファイルの名前] >[.pl形式Perlファイルの名前]

- 機能説明 :
- 1 ノードの文字列をそのまま、その順序で出力する
 - 2 ツリーを一段下げた部分は、{行と}行で囲んで出力する

- 補足説明 :
- 1 コメントのみをノードにすることもできるので、機能ブロック名に使うとよい
 - 2 FreeMindで全部表示しても充分見渡せる程度のプログラムサイズにするのが賢明である
 - 3 同じプログラム構造のCやC++にもそのまま使える
 - 4 FreeMindでは、"などの記号が"&..;"で内部表現されているが、分かっている分だけ元の文字に戻している

- 課題 :
- 1 実行時エラーはPerl形式ファイルに対するものなので、FreeMindではエラー部分の判断がやや難しくなる
 - 2 日本語でコメントを書けるが、Perlファイルでは"&#x....;"でunicode表記のままになる

- mm2plの開発者へのメモ
- mm2plの更新作業手順
 - # 1 作成 : mm2pl(旧版) <mm2pl.mm(新版) > t.pl
 - # 最初の新版では、古い旧版で解釈できるmm2pl.mmとする必要がある
 - # 2 テスト : perl t.pl <mm2pl.mm >t.pl
 - # 3 問題ないか : diff t.pl t2.pl
 - # 4 よければ : cp t.pl mm2pl
 - # 5 あと片づけ : rm t.pl t2.pl

日本語コメントの出力ファイル表示は作業途中